

Lesson 05 「古墳期の社会」

～ Logical - 通史理解「日本史探究」疾風 Watabe 塾 ～

【古墳時代の区分】

「古墳時代」(3世紀後半～7世紀半ば)

{1 出現期 } → (卑弥呼の死後の時代に合致する)

{2 前期 }

※ 5期区分とした場合 {3 中期 }

{4 後期 }

{5 終末期 } → (一部の地域にのみ限定される)

【古墳の成立】

(1) 出現期古墳 (～3世紀後半)

○地域 … {6 大和 ～ 瀬戸内海沿岸 } の首長/有力層の墳墓が出現

○古墳のさまざまな形状 ← {7 前方後円墳 }

・ 前方後方墳

・ {8 円墳 }

・ 方墳 など

○出現期の古墳は、西日本では～「前方後円墳」が多い(≡重要)

東日本では～「前方後方墳」が多い

○墳墓の形と規模: 被葬者の地位や権力の大きさ

○首長権力の強大化、支配者的性格の強化

○出現期古墳の最大古墳は、奈良県 桜井市 纏向遺跡 に位置する {9 箸墓古墳 }

※かつて卑弥呼の墓として有力視

(2) 前期古墳 (3世紀後半～4世紀末)

～ 前方後円墳 ～

○立地 ～ 台地上や尾根上

○構造 ～ 築いた 墳丘 の斜面に {10 葺石 }

{11 埴輪 } を設置

→ 前期古墳の埴輪は {12 円筒埴輪 }

○埋葬施設 ～ 墳丘の頂部に墓室 (多くの場合)

= {13 竪穴式石室 } ・ 粘土槨

○副葬品 ～ 銅鏡 ・ {14 勾玉 } ・ 管玉

碧玉製腕飾り ・ 鉄製武器 ・ 農工具

○被葬者 ～ {15 司祭者 } 的な性格の人物であることが推察できる

○古墳群の造営 ～ 首長代替わりごとに築造、首長継承儀式の場

【古墳の発展】

(3) 中期古墳 (5世紀)

○巨大な前方後円墳 = 大王 おおきみ 権力の強大化

拠点: {16 大阪 平野 } … 世界文化遺産: {17 百舌鳥 ・ 古市 古墳群 }

○立地 ～ 平野部

○代表例 ～ 大阪府羽曳野市: {18 誉田御廟山 古墳 } … 伝: 応神天皇 陵

※世界最大、

大阪府堺市: {19 大仙陵 古墳 } … 伝: 仁徳天皇 陵

○分布

・ 鹿児島県から岩手県におよぶ範囲 = {20 ヤマト政権 } の勢力圏拡大

・ 岡山平野の「巨大前方後円墳」… この地域の有力首長の存在を意味する

例～岡山県: {21 造山 古墳 }

・ 北関東地方「巨大前方後円墳」… この地域の有力首長の存在を意味する

例～群馬県: {22 保渡田 古墳群 }

○副葬品 ～ 鉄製甲冑・刀剣、馬具、冠、金銅製装身具 (大陸系技術)

○被葬者 ～ {23 武人 } 的な性格の人物 (軍事指導者) であると推察できる
(大陸の技術や文化に関心)

【古墳の変貌】

(4) 後期古墳 (6～7世紀)

○古墳の小規模化 (直径10mほど) ～ 円墳 ・ {24 方墳 }

○小規模古墳が密集 = {25 群集墳 } ← 有力農民層の台頭

○前方後円墳が小規模化 (近畿中央部以外)

→ 畿内ヤマト政権と、地方有力首長の「力の差」の拡大が推察される

○埋葬施設 ～ 合理的な変化が現れる

{26 横穴式石室 } ～ 家形石棺 (大陸系文化) → {27 追葬 } 可能

○副葬品 ～ 日常品 / 馬具・装身具、{28 須恵器 ・ 土師器 } など

→ 墓室 = 死後の生活を想定していると考えられる

○代表例 ～ 和歌山県: {29 岩橋千塚 }、奈良県: 新沢千塚、

神奈川県: 桜土手古墳群

(5) 終末古墳 (7世紀はじめ～7世紀半ば)

▶▶▶ 「前方後円墳」や「群集墳」が減少

▶▶▶ 畿内中央の一部の有力層の墓に限定されていく

○大王墓や王族の墓 ～ 氏の権威・権力の象徴

○形状 ～ 八角形墳、上円下方墳、彩色壁画 → 装飾古墳

○代表例 ～ 奈良県: {30 高松塚 古墳 ・ キトラ 古墳 }、

奈良県: {31 石舞台 古墳 } … 伝: 蘇我馬子の墓

※これらの古墳はすべて、奈良県: {32 明日香 村 } に位置する